

「事業名：外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」

獨協大学 連携市町村：田村市

現地拠点：田村市船引町石森館108 テラス石森内

事業のポイント

本学と田村市との間で継続的な連携関係を構築し、これまで大学が培ってきた「**外国語教育**」「**環境教育**」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、情報発信と「**環境に配慮した持続可能なまちづくり**」の仕組みを構築し、それを相双地域の**他の浜通り市町村**に展開していく。

人材育成目標

本学と浜通り市町村等において、**SDGs達成の担い手との復興に貢献する人材の育成**を目標とする。本学の学生や地域の子ども・若者をはじめとする住民が、持続可能な社会を実現するために地域社会や国際社会において活躍できるようになることが目的である。

2022年度の活動内容

- ・本学ホームページの「**復興知事業**」サイトの運用を開始する。
- ・田村市の観光資源・地域資源に関する**多言語化プロジェクトを進展**させる。
- ・田村市の観光資源・地域資源について本学ホームページやSNSで発信していく。
- ・田村市の**環境政策や省CO₂・省エネルギー、再生可能エネルギー普及計画**について把握し、**環境に配慮した「持続可能なまちづくり」構想**についての議論を深める。
- ・商工課が市内企業の調査を行う活動に協働する。
- ・田村市主催の**Fukushima Futureサミット**や、**小中学校の環境教育、SDGs教育**に協力する。
- ・教育プログラム「**地元学(田村学)**」やイラスト・マップを制作する。

取り組みによって得られる成果

- ・本学において**福島県復興支援、持続可能なまちづくりやSDGsへの学び**が盛んになる。
- ・海外からの留学生が福島について学ぶ場ができ、**福島**の復興に対する**正しい認識**につながる。
- ・地域の子ども・若者、社会人が**地域の価値を再認識**し、**地域への愛着、当事者意識**が高まる。
- ・地域住民において**持続可能なまちづくりの意識**が高まり、**地域づくりが活発化**する。



バイオマス発電に取り組む田村バイオエナジーを視察



ホップジャパンの本間社長にSDGsへの取り組みを聞く



本学との連携協定締結式に来学された白石高司田村市長との意見交換会